



成田中だより

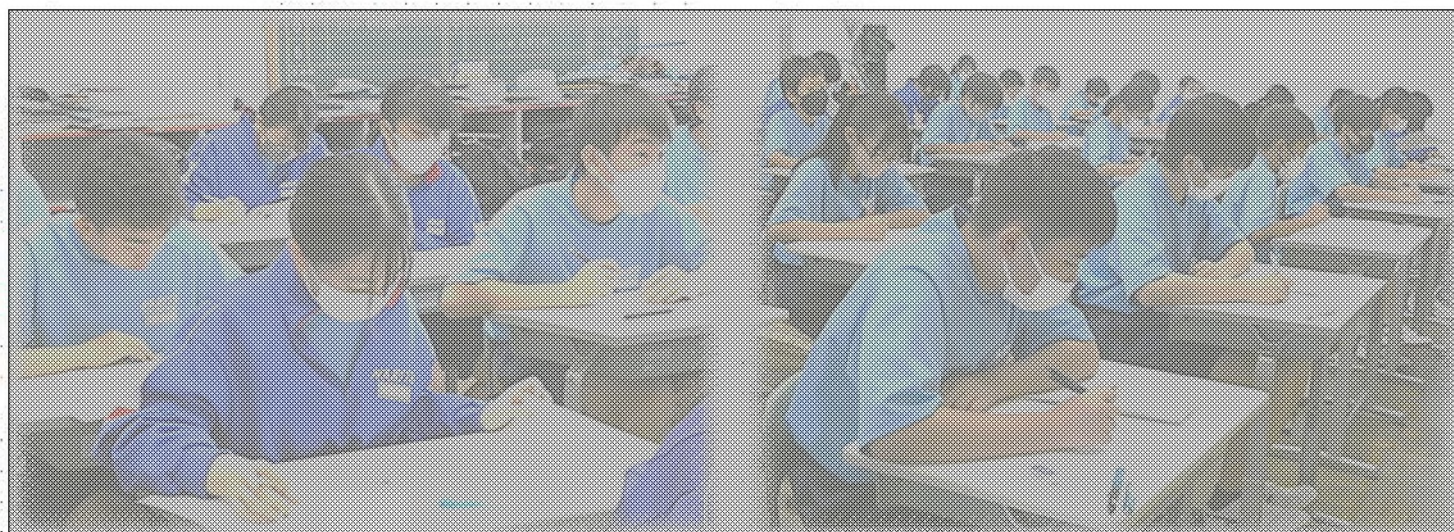
令和5年9月15日
成田市立成田中学校
TEL 0476-22-0304
生徒数 503名
文責 濱谷 昌人

《令和5年度学校教育目標》『 夢 へ 』

「誰もが夢を持ち、明日も行きたいと思える学校」を生徒とともに目指します！

定期テスト終了！再び「英数30分」は、夢につながる習慣！

～下校時間が早まるこれからの季節こそ、力を付けるチャンス！～



◎「さあ、夏休みの勉強の成果を出すぞ！」

◎最後の最後まで諦めず、真剣に頑張りました！

第2回目の定期テストが終了しました。皆さん、お疲れ様でした。夏休み明けの「定期テスト」はいかがでしたでしょうか。夏休みの成果を発揮できた人もたくさんいたことでしょう。下校していく皆さんに、「どうだった？」と投げかけると、笑顔で「まあまあでした！」と答えていく生徒が多く、手応えはまずまずの皆さんが多いようで何よりです。中には、「全然ダメでしたあ……」と、苦笑いしながら返してくる人もいましたがドンマイですよ！大丈夫です。テスト直しと復習に真剣に取り組み、また、次に向けて頑張らしましょう。

来週からテスト返却が始まります。きっと、結果を見るたび一喜一憂することになると思いますが、皆さんに伝えておきたいことは、結果以上にその後が大切だということです。結果を見て、現時点での自分自身の力をしっかりと受け止めて、決してそのままにしておくことなく、改善・向上の努力をしていくことがとても大切なのです。まずは、テスト直しをしっかりと行うことです。各教科担当の先生方が工夫して解答の解説を行います。集中してその解説を聴いてください。成田中学校では、テスト勉強の結果の記録と反省を『学習の記録』という冊子に綴っていきませんが、テストの反省を真剣に書いておきましょう。テストの結果をしっかりと振り返り、次へとつなげていきたいものです。「**継続は力なり！**」……皆さんには、常日頃から言い続けてきた毎日「**英数30分**」を、今日からまた実践して行ってほしいです。もちろん、3年生の皆さんには、受験を見据えさらなる奮起を期待しています。1・2年生の皆さんは、これからの季節はどんどん日が短くなり下校時刻が早まってきます。家で机に向かえる時間が増えてきます。毎日「**英数30分**」を当たり前の習慣にして、この秋と冬にはプラスアルファの努力をするところまで持っていけると良いですね。私は、「**小さな努力の積み重ね**」というのはとても大切だと考えています。最終的には、この「**小さな努力の積み重ね**」が「**大きな力**」を発揮することになると思っています。自分自身の人生に大きな影響を与える心掛けだと信じています。自分自身の可能性を広げ、夢につながる習慣だと信じ、「**英数30分**」を実践してみてください。

輝いた夏 ～最後の総体・コンクール・作品展を終えて（第二部）～

前号から始まった『輝いた夏』の第二部です。各部活動顧問の先生が、夏に輝いた皆さんへ、心のこもったメッセージを贈ります・・・シリーズ第二弾をどうぞ！

【サッカー部】「たった2人でも、チームに多くのものを残した3先生！」



この3年生は、部員わずか2名で活動してきました。合同チームで臨んだ新人戦は2-1で敗退。経験者が少ないことを考えれば善戦したものの、勝つ力があつたかといえば、そうではなかったと思います。以降の試合も、勝てない日が続きました。1年生中心ということもあり、悪い言い方になりますが、相手に見くびられながらプレイされることもありました。悔しさを抱えながら、それでもブレることなく戦う2人の3年生の姿を見てきたからこそ、後輩達も2人を信頼しチームとして成長できたと思います。1年後のブロック大会、新人戦で対戦した同じ相手に、PK戦の末に勝利しました。勝つ力を身につけ、勝つべくして勝った。そんな試合だったと思います。私は、彼らが変わつたとは思っていません。やるべきことをひたすら続けてきただけです。変わつたとするならば、対戦相手の見る目かもしれません。気づけば、大差で負けていた相手にも堂々と戦えるようになりました。最後の総体。PK戦に入った際、後輩達から部長に「円陣を組みましょう！」と提案がありました。その瞬間こそ、2人が創り上げたチームでの、最高の場面であつたと感じます。

不器用だけど誰より気が利き、泥臭く走り体を張る、一生懸命な部長。

好不調の波が不安定であるも、チーム1の武器を持ち、頼れる副部長。

たった2人でも、チームに多くのものを残してくれたことに感謝しています。

【剣道部】「心を磨き礼儀作法や何事にも諦めない心を持つことが剣道！」





剣道部を選び最後までやり抜くことは決して簡単なことではありません。汗が滝のように出る暑い夏に防具をつけての稽古、凍るような冬の床で裸足での稽古、掛かり稽古に追い込みなどなど大変なことだらけだったと思います。逃げ出したいと思うことはきっと全員が経験していると思いますが、その気持ち乗り越えて君たちはやり抜きました。その努力があったからこそ、郡新人戦男子3位と女子敢闘賞、男女ともに団体戦優勝を経験し、多くの人が初段や二段を取得することができたと思います。本当によく頑張りましたね。3年間お疲れ様でした。中学校の剣道はこれで終わりです。君たちの剣道はまだまだ発展途上でこれからもっと成長します。高校でも剣道を続けてもらうことが顧問としての願いです。進路選択をこれからするとき少し考えてみてください。

「剣道は剣の理法の修練による、人間形成の道である。」という剣道の理念があります。「試合で勝つための技術を学ぶだけでなく、心を磨き礼儀作法や何事にも諦めない強い心を持つことが剣道である。」という意味です。きっと君たちは1年生の入部したころに比べ、体も心も強くたくましい人間に成長していることでしょう。これからの人生でつらいことなどがあり壁にぶち当たることがあったら、剣道部の稽古を思い出してください。その厳しさに比べたら、ある程度は乗り越えられるでしょう！本当にお疲れ様でした。

【吹奏楽部】「一緒に音楽ができたことは誇りだし最高の思い出！」

千葉県中学校吹奏楽コンクール 優秀賞！





この記事を書こうとして3年間をいろいろ思い出してみると、3年生17人それぞれの個性豊かな場面がたくさんよみがえってきました。コロナの制限があり、先輩たちから十分に教えを請うことができなかった始まりでしたが、自分たちで本当によく練習してきました。まあ、正直言えば昨年度の3年生がいなくなるときは非常に不安でした。このまま先輩たちがいなくなってこの子たちは本当にやっていけるのだろうか。ちゃんと吹けるようになるのだろうか。後輩たちに教えることができるのだろうか。成田中学校吹奏楽部の名を守っていくことができるのだろうか。心配事はたくさんでした。でも、そんな私の心配事は不必要だと言わんばかりにみんなはどんどん上手になっていきました。吹奏楽は見た目とは違い、個人で黙々とひたすら地道に練習に取り組まなくてはならない、地味な部活動です。さらに、それだけではだめで、個人の練習に加え、パートやセクションで何十回、何百回、それ以上合わせて音の立ち上がりや息を吸うタイミング、音程などを揃える感覚を体に染み込ませるなど、地味だし全然先に進めている感覚が持てない、苦しい練習がたくさんあります。そんなことをわかってか、わからずかはわかりませんでした。木管でも金管でもよく、廊下で合わせていましたね。もう少し個人の練習を増やしてほしいと言ったこともありましたが、それはそれでこれが今年の3年生のとてもいいところだと思います(^;)お互いに声を掛け合いながら、もしくは自然と集まって一緒に演奏し出す、はたまた一人で黙々と練習を続けている。ここでもやはりそれぞれの個性が光っていました。そんな学年だったからこそ、今の体制になって初めての2部会の音楽発表会では郡への推薦をいただきました。さらにコンクールでは優秀賞をいただくことができました。最後は学校のために「ジャンボリミッキー」を全力で楽しんで演奏しているみんなを見て、君たちと一緒に音楽ができて本当によかったと思うし、もう少しやっていたかったと思っています。この先、たとえ二度と楽器を吹くことがなかったとしても、みんながここでやってきた3年間はきっと無駄にならないし、人生の中のほんの一瞬だけど片隅でも覚えててくれたらうれしいなと思っています。私にとってもみんなと一緒に音楽ができたことは誇りだし最高の思い出です。ありがとうございました。ぜひこれからは後輩たちのことを見守ってあげてください。1・2年生のみんなはまずは先輩たちの真似をしながら、自分たちの色に成田中学校吹奏楽部を染めていってほしいです。先輩たちが守って

てくれたものをしっかりと受け継ぎ、次の世代へつなげるために、また一緒に頑張っていきましょう。3年生のみなさん。本当にお疲れ様でした。たくさんの素敵な思い出をありがとう。



きてくれたものをしっかりと受け継ぎ、次の世代へつなげるために、また一緒に頑張っていきましょう。3年生のみなさん。本当にお疲れ様でした。たくさんの素敵な思い出をありがとう。